

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	返 赤
配架番号	3 A
	14
	30-4-1

29  
623

秘

兵政調参考資料  
第三十五號

科三第	科
長	長
松田	黒山
平道	大田
小浜	西川
飯沢	鈴木
志水	折本
山本	井上

在滿洲國研究機關研究項目

Copy 3-100-9  
1957

国立公文書館

分類	
配架番号	30-4-1

昭和十八年六月十日  
陸軍兵器行政本部



めくられず

一 本冊ハ先ニ調製セル主要民間研究機關研究項目調査報告ニ準ジ  
 在滿洲國主要研究機關ニ於ケル研究項目ヲ調査輯録セルモノナ  
 リ  
 二 調査ハ昭和十七年十二月ニ於ケルモノトス

目次

一 國立大陸科學院 ..... 一  
 二 國立地質調査所 ..... 二七  
 三 滿鐵中央試驗所 ..... 三三  
 四 滿鐵撫順炭礦研究所 ..... 六七  
 五 滿洲電信電話株式會社技術研究所 ..... 七〇  
 六 滿洲輕金屬製造株式會社 ..... 七七  
 七 滿洲化學工業株式會社 ..... 八五  
 八 大華鐵業株式會社 ..... 八七  
 九 昭和製鋼所研究所 ..... 八九

一 大陸科學院

研究項目	滿洲研究會内容ヲ容メシテ概ル格	擔當者
建築地盤ニ關スル研究	滿洲ノ特殊事情ヲ對象トシタル建築地盤ノ調査研究ハ極メテ重要ナリ然ルニ未ダソレニ關スル基礎的研究ヲ殆ド缺クノ憾ミケルヲ以テ先ツ地盤ノ力学的並ニ物理的性質ニ關スル理論的並ニ實際的研究ヲ行ハントス	森 徹 加藤 涉
煉瓦ニ關スル研究	滿洲國ニ於ケル建築構造物ノ主体ヲナス燒成煉瓦ニ關スル研究ハ未ダ幼稚ナル状態ニアリ加之煉瓦用石炭ノ品質低下及ヒ勞力ノ不足ニ因リ煉瓦ノ品質著シク低下シ、眞ニ憂慮スベキ状態ニアリ、乃テ之ガ品質ノ向上ヲ計ラムト調査研究中ナリ	森 徹 增田 文雄 崔 永新
セメントニ關スル研究	中級セメント(普通ポルトランドセメント及ヒ高爐セメント)ノ品質ガ近時急激ニ低下シ、眞ニ憂慮スベキ状態ニアラテテ之ガ対策ヲ調査研究中ナリ	森 徹 增田 文雄 崔 永新

工場建築構造ニ關スル研究	室溫變動ニ影響スル各要素ニ關スル研究	自然換氣及補助換氣法ニ關スル研究	太陽熱及太陽光線ノ屋內氣候ニ及ス影響ニ關スル研究	炕及ベテカ特ニ壁ベテカニ關スル研究	野菜貯藏庫ニ關スル研究
建築構造學上、合理的且經濟的ナル工場、建築ノ設計ヲ爲シ得ル爲ノ基礎的資料ヲ得ントス	防禦防暑對策ノ基礎的研究トシテ建築物各部(壁、窓、屋根、天井、床等)ノ熱傳導及ヒ熱貫流ニ關スル研究ヲ行ヒツツアリ	風力及ヒ溫度差ニ依ル自然換氣ノ特性ヲ研究シ、之等ヲ原動力トスル簡單ナル補助換氣法ヲ考究セントス	太陽熱及ヒ太陽光線ノ屋內氣候ニ及ボス影響ニ關シテ定性的並ビニ定量的ノ研究ヲ行ヒツツアリ	炕及ベテカ特ニ壁ベテカノ特性ヲ研究シ、之ガ改良ヲ計ラントス	冬季ニ於ケル野菜ノ貯藏ハ滿洲國ニ於テハ極メテ重要ナル問題ナリ乃テ生物化學的研究室ト協力シテ野菜貯藏庫ニ關スル科學的研究ヲ行ヒツツアリ
山齋	和 前	和 前	和 前	和 前	以 森
田 藤	田 田	田 田	田 田	田 田	下 數
莊 謙	田 敏	田 敏	田 敏	田 敏	名 徹
衛 次	忠 男	忠 男	忠 男	忠 男	

煉瓦構造並ビ煉瓦鐵筋コンクリ併用構造ニ關スル研究	木材ニ關スル研究	コンクリートニ關スル研究
煉瓦構造及ビ煉瓦鐵筋コンクリ併用構造ノ強度計算法ニ關スル理論的並ビニ實驗的研究ハ殆ンド缺クテ理論的並ビニ實驗的研究ヲ行ヒツツアリ	建築構造中、木構造部分ノ設計ノ基礎トナルベキ滿洲産建築用木材ノ許容應力度ニ關スル研究ガ不充分ナルヲ以テ時ニハ安全側ニ過ギテ不經濟トナリ時ニハ極メテ危險ナル場合ヲ生ヅルヲ以テ滿洲産建築用木材ニ對スル適正ナル許容應力度ヲ提案セントス	滿洲ノ各地ニ於テ施工セラルベキコンクリートノ性状研究ノ第一歩トシテ各地産ノコンクリート用骨材ノ調査試験ヲ行ハントス
大東亞戰爭勃發以來建築用鋼材ノ制當ハ益々窮乏ニナリツツアル現狀ニ鑑ミ滿洲ノ特殊事業ヲ取入レテ鋼材ヲ節約シ得ル新構造法ヲ研究セントスルモノニシテ先ツ手始めトシテ床板ノ鋼材節約法ヲ研究中ナリ	森	崔 增 森
山 齋	森	田 文
田 藤	田 藤	永 文
莊 謙	莊 謙	新 雄
衛 次	衛 次	徹



<p>開拓地ノ建築物ニ關スル研究</p>	<p>住居建築ノミナラズ一般ニ開拓地ノ建築物ニ關シ、建築材料、構造、衛生學ノ三方面ヨリ研究シ、各現地ノ特殊事情ヲ採入シテ、經濟的ニシテ且保健衛生的ナル建築物ヲ設計シ得ル爲ノ基礎的資料ヲ得ントス</p>	<p>森 以下 數 名 徹</p>
<p>日シヤ建築ニ關スル研究</p>	<p>寒地ニ於ケル建築物設計ノ參考資料ヲ得ルタメ、日シヤ建築ノ調査研究ヲ行ヒツツアリ</p>	<p>森 以下 數 名 徹</p>
<p>建築防空ニ關スル研究</p>	<p>國際情勢ノ逼迫ヨリシテ建築防空ニ關スル早急ヲ要スル調査研究項目ハ日ニ月ニ激増シツツアルヲ以テ速カニ之ガ調査研究ヲ行ヒ軍官民ノ各機關ト連絡ヲトリ建築防空ノ全般特ニ重要施設ノ防空對策ヲ確立セントス</p>	<p>森 以下 數 名 徹</p>
<p>建築物ノ災害防止ニ關スル研究</p>	<p>全滿各地ニ亘ツテ既設並ビニ新築ノ煉瓦造家屋ガ年々多數倒潰スルノ現狀ナルニ鑑ミ破壊ノ原因ヲ調査研究シ、以テ煉瓦造家屋ノ倒壊理論ノ確立ニ資セントスルモノニシテ倒潰セルモノ及ビ倒潰寸前ノ</p>	<p>森 以下 數 名 徹</p>
<p>建築規格規準ニ關スル研究</p>	<p>モノニ付調査研究ヲ行ヒツツアリ 建築規格、規準ノ統一ハ施工能率及ビ經濟上ヨリ極メテ緊要ナルヲ以テ一日モ遅カカニ之ガ制定ノ必要ヲ認メ關係各方面ノ協力ヲ得テ、ソノ調査研究ヲ行ヒツツアリ</p>	<p>森 以下 數 名 徹</p>
<p>煙膏殘渣ノ利用ニ關スル研究</p>	<p>コデイン代用藥タルヒドロコタルニンヲ生工業的規模ニ於テ製造研究中</p>	<p>有馬純貞 養祖貞夫</p>
<p>コケモヨリタンニン劑製造研究</p>	<p>工業用及藥用タンニンノ製造法ヲ研究シ目下工業化ノ試験中ナリ</p>	<p>有馬純貞 立山彌七</p>
<p>トリオールノ製造研究</p>	<p>國內産石炭乾溜副生物ヨリトリオール製造ノ研究中ナリ</p>	<p>有馬純貞 立山彌七</p>
<p>滿洲産漢藥ノ研究</p>	<p>主トシテ苦味劑ノ調査研究中ナリ</p>	<p>有馬純貞 立山彌七</p>
<p>滿洲産阿片ノ研究</p>	<p>國産阿片ノ成分研究中ナリ</p>	<p>有馬純貞 林馬純堂</p>
<p>サトニン原料植物ノ關</p>	<p>蠟虫劑トシテセメンシナモドギノ成分研</p>	<p>有馬純貞 北川政夫</p>

査研究	究並ビニ薬理作用ノ研究中	立山 彌七
柞蠶絲ニ關スル研究	柞蠶絲ノセリシン定着法、染色法、解舒法、蛹ノ利用法ヲ研究中	二宮 良策
苧麻蠶絲ニ關スル研究	層歩合、挽手量ノ定量試験中ナリ	二宮 良策
杏仁ノ利用ニ關スル研究	杏仁壓搾粕ヨリアミグダリン、レシチンノ製造法及性質ニ關シ研究中	同
國産原料ニ依ル選鑛劑ノ研究	選鑛劑トシテノ樟腦油ノ代用品ヲ調査研究中ナリ	岩切 三雄
滿洲産植物油ノ研究	罌粟、オナモミ油、山葡萄酒子油ノ成分ヲ分析シ工業的利用法ヲ研究中ナリ	林 耀堂
滿洲産植物ノ調査研究	國産産植物ノ分類學的研究シ諸産業ノ基礎資料ヲラシメントス	北川 政夫
罌粟種子、杏仁、包米、胚芽其ノ他油脂原料利用ノ企業化試験研究		早水 林 市 川井 田 馬 千喜 正 純 秀平 明 三

木材ノ性質及組織ニ關スル研究	滿洲産木材ノ標準強度ニ關スル研究 木材試験法ニ關スル研究 木材及植物纖維ノ形態ニ關スル研究 滿洲國産木材ヲ原料トスルパイプニ關スル研究 硫酸鹽法(タラフト)パイプニ關スル研究 亞硫酸パルプ廢液ニ關スル研究 アルカリ法パルプ廢液ニ關スル研究 木材ヨリフルフロール製造ニ關スル研究	福渡 七基 太田 稔夫 平田 稔夫 福渡 七郎 平田 宗成 森田 貞三
パルプ及パルプ廢液ニ關スル研究	滿洲産天然樹脂ニ關スル研究 合成樹脂膠着劑及塗料ニ關ズル研究 フルフロール樹脂ニ關スル研究	福渡 七基 藤本 一三郎 田中 善雄
樹脂及合成樹脂ニ關スル研究	滿洲ベニヤ製造工業研究 航空用船舶用其他特殊ベニヤ合材研究 カセイン其他膠着材料ノ資源及製造ニ關スル研究	福渡 七基 櫻井 敏夫 荒岡 敏夫 山本 亮齋 西澤 昇

<p>滿洲ニ産スル主要作物ノ落葉利用ニ關スル研究</p>	<p>北滿移民開拓地ノ農業經營ニ於ケル畜産部門導入ニ關スル調査研究</p>	<p>營養ニ關スル研究</p>	<p>呼養貯蔵ニ關スル研究</p>	<p>油脂ノ生化學的研究</p>	<p>穀類ノ生化學的研究</p>	<p>滿洲産羊毛ニ關スル研究</p>	<p>屠肉副産物利用ニ關スル研究</p>
<p>家畜飼料補足ノ目的ヲ以テ滿洲産主要作物ノ落葉ノ利用、結實ニ及ボス影響等ニ關スル試験ヲ施行セントス</p>	<p>寒地農業經營ノ形態ハ有畜農業ヲ最良トス、北滿移民開拓地ノ農業經營ニ於テ農、小家庭、畜産物ノ理化學的利用等各方面ヨリ見タル有畜農業經營ニ關スル研究ヲ施行セントス</p>	<p>冬期ハ生鮮食品少キ爲營養缺陷ヲ來ス機會多カル可キガ故ニ主トシテ冬期間ニ得ラル可キゾイタミン資源ニ就キ研究</p>	<p>蔬菜生産地ニ於テ安價ニシテ且ツ容易ニ蔬菜ヲ貯蔵スル事ヲ目的トシ目下同一貯藏庫ノ連年使用ニ關シ試験續行中</p>	<p>油脂ノ獲得並ビニ其ノ利用ヲ目的トシ本邦ニ於ケル肝油資源ノ調査、各種油脂ノ特性等ニ呈色反應並ビニ分光化學的特性ニ就テ研究中</p>	<p>政府其ノ他ノ希望ニ依リ專ラライ麥ノ成分蛋白質ノ性質其ノ他ニ就テ研究中</p>	<p>滿洲産在來蒙古羊毛ハ紡績原料トシテ多クノ缺點ヲ有ス、之ヲ化學的處理ニヨリ卷縮、柔軟性ヲ賦與シ可紡性ヲ高度化シタヨノニ更ニ加工シタル滿洲産柞蠶纖維其他ノ雜纖維ヲ混合交織シ滿洲産羊毛ノ利用的價值ヲ高度化セントス</p>	<p>屠畜副産物ノ種類ハ可ナリ多種多様ニシテ之ガ利用研究問題頗ル多シ、第一ニ皮革工場ニ於テ副生スルニベテ原料トシテラチン製造ノ研究ヲ施行シ進ンテ寫眞感光乳劑用高級ゼラチン製造ノ研究ニ及ス 第二ニ屠肉ヲ利用シ、貯蔵、携帶口糧用トシテ乾肉糧ノ製造ニ關スル研究ヲ施行</p>
<p>篠田丸 川健</p>	<p>岡丸 幸殿</p>	<p>川上一行 青木一 林澤 長田休志</p>	<p>川上行 馬木一 青木一 林澤 長澤殿</p>	<p>何尾殿 森義克 間野克 宮吉秀雄</p>	<p>馬長澤殿 長澤殿</p>	<p>田丸殿 鎮西忠茂</p>	<p>木塚靜雄 田丸殿</p>



満洲産毛皮革ニ關スル研究	皮革製法ニ於テタンニン資源節約、確保ノ目的ヲ以テ炸蚕蛹油、罌粟實油、大豆油等ニヨル油樑法ニ關スル基礎的試験ヲ施行セル、更ニ進ンテ滿洲在來ノ樑法タル芒硝蘇燻煙ヲ再検討シ一方ニ於テ滿洲産天然タンニン資源ノ檢索ニ努メン	田丸 巖 鎮西 忠茂
糧穀品質及貯藏ニ關スル研究	本邦ノ農産物品質向上ニ資シ猶蒐荷並ニ貯藏中ニ於ケル損耗ヲ防ギ糧穀ノ合理的利用ニ徹セントス、猶備荒倉ノ問題ニ關セシメントス	志方 益三 小笠原 隆夫 文屋 猛
油料資源ニ關スル研究	本邦ニ於ケル油料資源等ニ日尙蒙ニ關スル幾種並ニ利用ニ關スル研究ヲ行ハントス	志方 益三 小笠原 隆夫 中川 寛
有用植物ノ栽培並改良ニ關スル研究	本邦ニ於ケル新タナル有用植物ニ關スル研究ニシテ、特ニ寒地ゴム、葛ルビニ關シ研究中ナリ	志方 益三 小笠原 隆夫 中川 寛
酒製飲料ニ關スル研究	本邦ニ於ケル酒精飲料ノ研究ニシテ既ニ山樫子酒ハ企業化シ本邦名産物ノ一ヲ加	志方 益三
乳酸ノ製造ニ關スル研究	ヘタリ、クラブ林檎酒ハ企業化セントス 乳酸ハ最近工業原料トシテモ重要トナリ特ニグリセリン代替品、可塑劑等ニ利用セラレントシツツアリ、之ガ生産方函ニツキ研究中ナリ	村上 正介 志方 益三 藤野 公平 水田 隈男
アミノ酸製造ニ關スル研究	アミノ酸製造及アミノ酸醬油ノ改良等ニ關シ研究中ナリ	村上 正介
微生物ニ依ルフラビン製造ニ關スル研究	滿洲土壤中ヨリニレモセシウム屬新菌株ヲ分離シ、之ニヨリフラビン(B <sub>2</sub> )ノ工業的製造ヲ計ラントス	志方 益三 藤野 公平 水田 隈男
果糖ノ製造ニ關スル研究	從來輸入品ナリシ果糖ヲ菊芋等ヨリ製造セントシツツアリ、基礎的研究ハ終ラントス	志方 益三 村井 典男
加里資源ニ關スル研究	加里資源ノ開發ノ緊要ナルニカンガミ蒙強ダブスノール、及ビ國內ノ加里資源ノ探求ヲ行ヒツツアリ	板野 新夫 内山 淳
石灰窒素ニ關スル研究	康德十一年末ヨリ滿洲電化デ生産サレル石灰窒素ノ肥効、貯藏中ノ變化ヲ檢討シ之レガ能率の活用ヲ期ス	川瀨 金次郎 河野 忠敬 中野 秀男

満洲産毛皮革ニ關スル研究	皮革製法ニ於テタンニン資源節約、確保ノ目的ヲ以テ炸蚕蛹油、罌粟實油、大豆油等ニヨル油樑法ニ關スル基礎的試験ヲ施行セル、更ニ進ンテ滿洲在來ノ樑法タル芒硝蘇燻煙ヲ再検討シ一方ニ於テ滿洲産天然タンニン資源ノ檢索ニ努メン	田丸 巖 鎮西 忠茂
糧穀品質及貯藏ニ關スル研究	本邦ノ農産物品質向上ニ資シ猶蒐荷並ニ貯藏中ニ於ケル損耗ヲ防ギ糧穀ノ合理的利用ニ徹セントス、猶備荒倉ノ問題ニ關セシメントス	志方 益三 小笠原 隆夫 文屋 猛
油料資源ニ關スル研究	本邦ニ於ケル油料資源等ニ日尙蒙ニ關スル幾種並ニ利用ニ關スル研究ヲ行ハントス	志方 益三 小笠原 隆夫 中川 寛
有用植物ノ栽培並改良ニ關スル研究	本邦ニ於ケル新タナル有用植物ニ關スル研究ニシテ、特ニ寒地ゴム、葛ルビニ關シ研究中ナリ	志方 益三 小笠原 隆夫 中川 寛
酒製飲料ニ關スル研究	本邦ニ於ケル酒精飲料ノ研究ニシテ既ニ山樫子酒ハ企業化シ本邦名産物ノ一ヲ加	志方 益三

麥角ニ關スル研究	從來輸入依存ナリシ産婦人用止血劑麥角ヲ滿洲ニ於テ人口栽培ニ成功セリ、之ヲ普及シテ、自給ヲ計リ更ニ輸出迄進展セシメントス	志方益三 松岡義顯 富永政利
藥用植物ニ關スル研究	滿洲産藥用植物ニ關スル栽培及藥効ニ關シ研究セントス、目下ハ特ニ北川研究官ノセマンシナドクノ栽培ニツキ研究中	志方益三 松岡義顯 富永政利
芒硝硝子ノ研究	ジヤライノール地方ノ天然芒硝ノ利用ヲ目的トスル一研究ニシテ、一面礪砂輸入杜絶ニツキ無錫碎芒硝ニツキ研究中ナリ	志方益三 井上周吉
滿洲産ガラス工業資源ニ關スル研究	猶硝子原料モ調査中ニシテ、金初田、原料ニヨル硝子工業ヲ成立セシメント書向ス	井上周吉
滿洲産稀有元素鐵物ノ研究	花崗岩地帯及砂金殘滓中ニ産スル稀元素鐵物ノ地質學的的研究ヲ行ヒ、稀有金屬抽出等ノ利用研究ヲナス	山見吉之 那須芳辰
礬土頁岩ノ線の研究	礬土頁岩ノ鐵物組成ヲ研究シ、工業的處理ノ資料トス、南洋産礬土頁岩ト同	織田三郎
岩石ニ對スル熱水液ノ化學的作 用ニ關スル研究	椋ニペーヤイトヲ含有スルコトヲ發見ス 高温、高壓ノ許ニテ溶液ノ岩石ニ及ボス影響ニツキ研究シ、岩石ノ變成、有用成分ノ抽出ノ一方法トスルヲ目的トス	中山三雄 山崎重明
加里資料ニ關スル調査研究	長石、石英粗面岩等ニ含有セラルル不溶性加里ノ抽出ヲ目的トシ、鹽素處理、及熔融法ニツキテ研究中	吉村重明 山崎重明 佐野榮
天然芒硝ノ利用ニ關スル研究	天然芒硝ヨリ曹達ヨリ硫酸ノ製造ヲ目的トス(未着手)	吉村重明 山崎重明
滿洲産粘土類ノ理化學的研究	粘土類殊ニベントナイトノ性質ヲ究メ、ソノ利用ニ付キ研究中	吉村重明 織田三郎 久保田光雄
滿洲産陶磁器用原料ノ研究	滿洲産粘土及鑛石類ノ陶磁器製造ニ對スル適否ニ關スル試験及高級磁器製造ニ關シ研究中	吉村重明 久保田光雄 山本廣明
工業用雷管ノ製造ニ關スル研究	雷汞雷管ノ代用トシテ、水銀、銅ヲ用ヒサル雷管ノ製造ヲ目的トシ、アセチレン銀ヲ起爆藥トスル雷管ニツキ研究中	吉村重明 織田三郎 安納林松



<p>滿洲產マンガン鐵ノ鑛物化學的研究</p>	<p>貧マンガン鐵ノ鑛物化學的性質ヲ究メ、選鑛處ノ資料トス 吉林省通陽縣景臺村ノモノニツキテ研究ヲ終リ、更ニ他產地ノモノヲ研究セントス</p>	<p>吉村 三郎 恂 織田 吉之助 逸見 秀廣</p>
<p>滿洲產一般鑛物ノ鑛物學的研究</p>	<p>滿洲產鑛物ノ一般的研究ヲ行ヒ、新産鑛物ノ發見、鑛物誌編纂ノ資料トス</p>	<p>吉村 吉之助 恂 逸見 秀廣</p>
<p>滿洲ニ於ケル接觸鑛床ノ研究</p>	<p>銅、鉛、亞鉛等ノ鑛床ノ鑛物學的研究ヲ行ヒ、鑛床開發ノ資料トス</p>	<p>逸見 吉之助</p>
<p>滿洲ノ溫泉及鑛泉ノ調査研究</p>	<p>厚生科學上必要ナル溫泉ノ水質、ラヂウム含有量等ノ研究ヲ補足的ニ行フ</p>	<p>吉村 幸平 山田 恂</p>
<p>特殊氷製造ニ關スル研究</p>	<p>鹽類ヲ混有スル融點低キ氷ノ製造ヲ目的トシ目下裝置ノ準備中</p>	<p>吉村 恂 横川 政司</p>
<p>凍土ニ關スル研究</p>	<p>土壤凍結ニ關スル基礎的研究ヲ目的トシ石英粉其他ノ單純物質ノ凍結ニ關スル研究ヲ行ヒ、順次複雑ナル土壤ノ凍結ニ關スル研究ヲ行ハントス (未着手)</p>	<p>吉村 恂 織田 三郎 山崎 重明 久保田 光雄</p>
<p>カイバイトノ利用ニ關スル研究</p>	<p>カイバイトノ新用途開拓ヲ主目的トシ併セテカイバイト自体ノ性質ヲ究明セントス。目下下行ヒ居ルハカイバイト鉛ノ反應ニヨリ鉛ノ合金ヲ製スル研究ナリ</p>	<p>横山 辰雄 湯藏 巖</p>
<p>耐寒電池蓄電池ニ關スル研究</p>	<p>電池蓄電池ノ耐寒性増進ヲ目的トシ併セテ電池蓄電池ノ低溫ニ於ケル諸性質ヲ究明セントス。目下下行ヒ居ルハ耐寒乾電池ノ低溫ニ於ケル特性ノ試験ナリ</p>	<p>横山 辰雄</p>
<p>芒硝ノ新電解法ニ關スル研究</p>	<p>芒硝ニ鹽化水素ヲ作用セシメテ食鹽ト硫酸ヲ製シ此ノ食鹽ヲ水ニ溶解シテ電解ニ附シ苛性ソーダト鹽素及水素ヲ製シ、此ノ鹽素及水素ヨリ鹽化水素ヲ製シ此ノ鹽化水素ヲ循環使用スル等ニヨリ結局ノ製品トシテ苛性ソーダ及硫酸ヲ得ヨリ得ル研究ニシテ、目下下行ヒ居ルハ鹽化水素芒硝、水素ノ平衡状態ノ研究ナリ。尙小規模ノ工業化試験ヲモ行フベク準備中ナリ</p>	<p>横山 辰雄 一瀬 雷信 高田 明</p>
<p>交流電解ニ關スル研究</p>	<p>交流電解ノ原理ヲ究明シ併セテ其ノ工業的應用ヲ開拓セントス</p>	<p>一瀬 雷信</p>

全滿石炭ノ炭質炭量ニ關スル調査研究	高オクタン價揮發油合成ニ關スル研究	高級潤滑油合成ニ關スル研究	水性ガソリン原料トスル高級アルコール合成ニ關スル研究	石炭分析並油類ノ規格試験
滿洲産石炭ノ合理的利用方法ヲ考究スル目的ヲ以テ科學會議會主宰ノ下ニ全滿八研究機關ニ依リ全滿各炭礦ヲ分擔試料採取シテ化學的分析法ニ依リ其ノ炭質ヲ明ラカニセントスルモノニシテ本研究室モ其ノ一ヲ擔當ス	ブタノール及ピアセトシ原料トシテ水、重合法ニ依リ高オクタン價重合揮發油ヲ合成セントスルモノニシテ重合用燐煤ニ就キ研究ヲ進メツツアリ	植物油ヲ原料トシテ重合、水添性ニ依ル高級潤滑油ノ合成並ニ大豆油脂脂肪酸原料トシテ凝固點降下劑ノ合成ニツキ研究中ナリ	水性ガソリン原料トシテ高級アルコールヲ合成シイソクオクタンヲ得ントスル目的ヲ以テ高級アルコールヲ收量良ク合成セントシ合成用燐煤ニツキ研究中ナリ	石炭油母頁岩ノ分析並油類ノ規格試験
伊藤 祝太郎	溝下 征	溝下 征	溝下 征	伊藤 祝太郎
北岡 隆吉	北岡 隆吉	北岡 隆吉	北岡 隆吉	北岡 隆吉
平尾 三郎	平尾 三郎	平尾 三郎	平尾 三郎	平尾 三郎
平尾 孝四郎	平尾 孝四郎	平尾 孝四郎	平尾 孝四郎	平尾 孝四郎
山崎 喜一郎	山崎 喜一郎	山崎 喜一郎	山崎 喜一郎	山崎 喜一郎
松田 秀夫	松田 秀夫	松田 秀夫	松田 秀夫	松田 秀夫
早川 正義	早川 正義	早川 正義	早川 正義	早川 正義
燃焼ニ關スル研究	燃焼器具ニ關スル研究	燃料炭ニ關スル研究	耐寒鐵ニ關スル研究	析出機構ニ關スル研究
石炭ヲ適當ナル溶液ニ依リ抽出スレバ約八〇%ノ一次ピッチニシテ抽出スル、各種溶劑、抽出物並ニ抽出殘渣ニツキ基礎的研究中ナリ	一般小型燃焼装置（ペー子カ、燈籠、炊事風呂等）ニ對スル燃料（不炭薪）ノ經濟的ノ使用方法ノ研究ヲ目的トシソノ合理的ナル焚燒法ヲ案出、軍民間ノ依頼ニ應ジ之ガ指導書及ニ努メツツアリ	主トシテ小型燃焼器具ノ改良ヲ目的トシ最近鑄鐵製燈爐ヲ設計シ國內民需用規格型トシテ市販セシメタリ	一般滿洲産炭焼用石炭ノ分析試験ヲ行ヒソノ結果ヨリ適正ナル用法及炭價ノ決定ノ基準タルベキ炭質ノ簡易ナル分類法ヲ案出セリ	北滿ノ階零下ニ於テ脆弱ナラザル鋼ノ研究ニシテ材料到着次第着手セントス
田丸 莞爾	田丸 莞爾	田丸 莞爾	田丸 莞爾	田丸 莞爾

電氣脫溫計、風速計、計器ノ試作	合金ニテ研究中ナリ	林 三樹男
機軸現象ノ精密測定	寒氣ノ規準トナル相當溫度ヲ直接指示スルヲ目的トシ予備實驗ヲ終リ計器製作中ナリ 同一ノ電氣的方法ニ依ル微風計試作シツツアリ	吉田 彌平 山田 岩雄
機器ノ耐寒性研究	精密測定技術ニヨリ各種現象ヲ探求スルニアリ 振動、音響、壓力等ニ關シテ電氣計測設備ヲ行ヘリ 機器耐寒性増進ノ目的ヲ以テ低溫時ニ於ケル機器ノ内容ヲ觀察ス 先ヅ現地ニ於テ撮影機ノ性能ヲ測定セリ 引續キ低溫室ニテ研究續行中ナリ	吉田 彌平 高木 三郎 強 恒 春
太陽熱ノ利用ニ關スル研究	滿洲向風草及ビ附屬發電設備ポンプ等ヲモ製作ス、現在各所ニ試作中ナリ	本岡 玉樹
風力利用ニ關スル研究	代用燃料トシテジヤライノール炭其ノ他ヲ使用スルコトヲ目的トシテ石炭自動車ノ研究ヲナス現在一應實用試驗ヲ完了ス	水谷 誠次郎 境野 誠次郎 齋藤 源八 窪田 隆造
石炭代用燃料ニ關スル研究	低溫ニ於ケル衝撃ニ對スル材料強度脆化ノ基礎實驗ナリ 目下着手スル迄ニ至ラズ	水谷 壽
穀粒ノ流動ニ關スル研究	穀物ノ真空搬送ノ基礎實驗ヲ行フ 目下小型搬送實驗裝置準備中	外 木 有 光
ディーゼル機關ノ燃料噴射ニ關スル研究	ディーゼル機關ノ燃料噴射ニ對スル基礎研究ニシテ故久保田研究室ノ研究セルモノナリ 目下ハ人員其ノ他ノ都合ニテ中止シアリ	水 谷 壽
一乳酸菌ノ分離及乳酸製造ニ關スル研究 ニ酵母製造ニ關スル研究	一各種ノ工業上原料トシテ重要ナル「乳酸」ハ目下品拂底ナルニ鑑ミ昨年始ヨリ本研究ヲ開始シ相當ノ所迄進行シタルモ實驗適當者ノ退職ニヨリ本研究ハ一時中止ノ已ムナキニ至レリ ニ前同様ノ原因ニテ一時中止ス	丸 山 捨 吉 富 田 美 郎
滿洲産葉煙草ヲ原料トスルニコチン精製造ノ研究	農薬トシテ重要ナル位置ヲ占ムル硫酸ニコチンハ米國及ビ露國ヨリノ輸入杜絶セラルカメ之ガ自給ヲ計ルヲ目的トス(研究ハ目下續行中)	丸 山 捨 吉 石 渡 實 吉



<p>フルフロールノ利用加工ニ關スル研究</p>	<p>一 浮遊選礦劑原料トシテ多額ノ需要アル          フルフロールヲフルフロール原料ト          シテ合成セントス          二 フルフロール原料トシテブタノール          ヲ合成セントス          三 フルフロール原料トシテ合成酒原料          琥珀酸原料ヲ製造セントス(研究ハ一          部完成→部續行中)</p>	<p>丸山捨吉          石渡實          右田章一          長月正來</p>
<p>ビタミンノ原料ソルビト製造ノ研究</p>	<p>滿洲ハ冬季間野菜不足スルニ鑑ミ今年度          約六〇疇ノビタミン製造ノ計畫ヲ建テ          着々準備中ナリ、之ガ原料ソルビト及          ソルボールハ差當リ日本ヨリ輸入ニ俟ツ          考ヘナルモ將來ハ自給スル考ニシテ研究          室ニ於ケル小規模實驗ヲ終了セルニヨリ          中間工業試験ニ移ル準備中ナリ</p>	<p>丸山捨吉          大崎金兵衛</p>
<p>馬疫治療薬ナガノール及類似薬合成ノ研究</p>	<p>瀋逸ヨリ馬ノ瘡疫治療薬ナガノールノ輸入          入杜絶セルニヨリ馬政局ヨリノ依頼ヲ受          ケ本邦ノ合成研究ヲ開始シ、鋭意努力中          ナレバ本年未迄ニ合成ヲ完成スル見込ナ          リ</p>	<p>丸山捨吉          淺野彦二</p>

<p>防毒資材ニ關スル研究</p>	<p>一 國內資源ヲ利用シ安價、輕易ニシテ多          量生産ニ適スル防毒面ノ試作研究          二 劇毒ニ從事スルモノニ適スル防護服ノ          試作研究</p>	<p>恒松不二夫          池原清二          三浦征五郎</p>
<p>有害瓦斯防護ニ關スル研究</p>	<p>一 持久瓦斯汚毒物件消毒法ノ具体的方策          樹立ニ關スル調査研究          二 農作物ノ毒瓦斯ニヨル影響ノ調査研究</p>	<p>恒松不二夫          高城伊佐男</p>
<p>路面固化安定法ノ研究</p>	<p>路面ト云フヨリハ路床土固化安定法ノ研          究ニ意ヲ用ヒ極力材料節約ヲ行ヒ路床土          固化對策ノ確立ヲ期セントス。現在土壤          ニセメントヲ添加シ之ヲ耐水的水ナルモノ          トスル所謂ソイルセメントニ關シ各方面          ヨリ試験研究ヲ行ヒツツアリ</p>	<p>前田惣          大島通治          小田一雄</p>
<p>道路舗裝ニ關スル研究</p>	<p>未着手</p>	<p>前田常雄          赤澤常雄</p>
<p>道路舗裝ニ關スル研究</p>	<p>滿洲産瀝青材料ノ改良利用ニ關スル研究          ヲ行ハントスルモノナルモ現在ニ於テハ          瀝青乳劑ノ製造ノ研究或ハ之ノ指導若ク          ハ依頼試験程度ノ專ヲ實施シ居ルニ過ギ          ズ</p>	<p>前田惣          大島通治</p>

硝土ニ關スル研究	硝土ノ理化學的性質、成因、分布ヲ檢シ硝石ノ増産ニ寄與シツツアリ	河野忠敬
飲料水淨化ニ關スル研究	開拓地等ヲ目標トシ簡易小規模ノ淨化方法ヲ研究ス 糞炭ヲ以テ濾過スル時ハ除菌除硬並ビニ細菌除去ニ有効ナルヲ知ルニ至レリ	山田武治 古賀萬壽雄
地下水ノ水質調査	國內各地ノ地下水々質ヲ知り其地ノ生活或ハ起業ニ益セントス 牡丹江省、三江省、吉林省、通化省ノ各一部分ニ就キ調査セリ	山田武治 古賀萬壽雄 千葉幸胤
下水淨化ニ關スル研究	都市ノ下水ヲ處理シ衛生上憂ナカラシメ目下インホフ槽並ニ灌漑法ニ就キ試験中ナリ	山田武治 海老名三郎 井原慶英
下水々質調査	主トシテ新京特別市内下水ヲ調査シ將來其淨化計畫ニ便セント數年來採酌試験セリ	山田武治 海老名三郎
放流汚水ニ依ル河川水質汚染調査	主トシテ新京特別市内下水ニ依リ伊通河ノ汚染狀況ヲ對照トシテ下水處理ノ急不急ヲ調査セントス	同右

瀝青材料ニ關スル試験研究	瀝青材料トシテノ石材ノ分夫ニツキ調査ヲ行フ	河野忠敬
石材ニ關スル調査試験	交通部ニ於ケル河川工事ニ關係アル水理模型實驗ヲ行ヒツツアリ	瀨戸一孝 趙薄
水理ニ關スル試験研究	土木諸材料ニ就テノ各種ノ依頼試験ニ應ジツツアリ	前田豊七 河田豊七 中武一 瀬戸一郎 赤澤常雄 大島通治
土壤微生物ニ關スル研究	土壤中ニ存在スル根瘤菌、アゾトバクテリアノ如キ空中窒素固定作用ヲ有スル微生物ノ研究ヲナシ農業増産ニ資セントス	板野新夫 張山憲武
アルカリ土壤ニ關スル研究	アルカリ土壤ノ理化學的性質ヲ檢討シコレガ成因ヲ極メ、開發ニ資セントス	川野忠敬
泥炭ニ關スル研究	泥炭ノ分布、理化學的性質、成因ヲ極メコレガ利用開發ヲ計ラントス	板野新夫 河合惣吾
黄土ニ關スル研究	黄土ノ理化學的性質、成因ヲ檢シコレガ利用開發ニ資セントス	板野新夫 内山新夫



<p>コンクリートニ關スル研究</p>	<p>地盤ノ凍結ノ研究</p>	<p>滿洲土壤ノ特異性ニ關スル研究</p>	<p>飛行場ニ就テノ土木工學的研究</p>	<p>降水量調査</p>	<p>水質試験法ノ研究</p>	<p>耐酸珪素鐵ニ關スル研究</p>	<p>金屬水鉛ノ製造ニ關スル研究</p>
<p>月採酌試験ス</p> <p>滿洲ノ氣象風土ニ適應スルコンクリートノ配合及施工ニ適スル試験研究ヲ行ヒ建設部面ニ資セントスルモノナリ。之ガ爲ニコンクリートノ寮中施工ニ對スル諸試験及ビ其他コンクリートノ配合骨材粒度ニ關スル研究ヲ實施シツツアリ。又セメント代用品ノ研究モ行ヒツツアリ。</p> <p>地盤ノ凍結及永久凍結層ノ存在ハ諸種ノ土木工事施工上太ナル支障ヲ及ボシ且又築造物破壊ノ一大原因ヲナス事多シ、之ガ爲ニ之等ノ諸現象ニツキ調査研究ヲ行ヒ對策樹立ノ資トセントス。</p> <p>各種土質ノ分布狀況ヲ調査シ、之等ノ土壤ニツキ工學的諸性質ヲ究メ將來ノ土木施工法ノ指針ヲ得ントスルモノナリ。之ガ爲ニハ大体ニ於テ道路建設豫定路線或ハ現有道路ニ就テ土壤試料ヲ採集シ土壤ノ一般試験ヲ實施ス。</p> <p>飛行場建設上必要ナル諸問題ヲ特ニ土木</p>	<p>各種土質ノ分布狀況ヲ調査シ、之等ノ土壤ニツキ工學的諸性質ヲ究メ將來ノ土木施工法ノ指針ヲ得ントスルモノナリ。之ガ爲ニハ大体ニ於テ道路建設豫定路線或ハ現有道路ニ就テ土壤試料ヲ採集シ土壤ノ一般試験ヲ實施ス。</p>	<p>滿洲ニ於ケル降雨狀況ヲ明ニシ下水管渠設計ノ標準ヲ定メントス</p> <p>主トシテ新京附近ノ降雨ニヨル</p>	<p>工學的方面ヨリ研究セントスルモノナリ之ガ爲ニハ土質ト排水ノ問題、地表面ノ支持力ト地下水ノ關係、有効芝ノ研究等ヲ實施シアリ</p> <p>滿洲ニ於ケル降雨狀況ヲ明ニシ下水管渠設計ノ標準ヲ定メントス</p> <p>主トシテ新京附近ノ降雨ニヨル</p>	<p>滿洲ノ地ニ適セル水質標準ヲ決定シ之ニ對スル合理的ナル試験法ヲ定メントス</p> <p>今年中ニ決定ノ見込ナリ</p> <p>滿洲輕金屬會社副産物タル珪素鐵ノ利用法トシテ耐酸珪素鐵ニ研究室のニハ成功シ特許申請中又中間試験ヲ始メトシ資材ヲ採シ中</p>	<p>馬鹿溝嶺山銅精鐵ニハ四一五%ノ<math>MoS_2</math>ヲ含有シ<math>MoS_2</math>精鐵ニハ六一七%ノ銅ヲ含有シアルガ故ニ此レ等ニ金屬ヲ最モ有利ニ分離利用セントシ焙燒實驗中ナリ</p>	<p>滿洲ニ於ケルアルミ貨弊ハ〇、五%ノ銅</p>	<p>滿洲ニ於ケルアルミ貨弊ハ〇、五%ノ銅</p>
<p>前田 赤澤 王 張 赤澤 前田 田 常 雄 德 用 藤 雄 德 三 綠</p>	<p>中武 上杉 德 三</p>	<p>奥村 中武 上杉 德 三</p>	<p>大島 張 小田 德 三 雄 治 一 雄 治 英</p>	<p>山田 古賀 千葉 幸胤 武治 萬壽雄 治 英</p>	<p>田丸 濱田 丸 莞 彰 雨 丸 莞 彰 雨</p>	<p>田丸 濱田 丸 莞 彰 雨 丸 莞 彰 雨</p>	<p>田丸 濱田 丸 莞 彰 雨 丸 莞 彰 雨</p>

めくれず

地質調査所		研究項目	研究内容ノ概略	擔當者
一般地質ノ調査研究	地質圖幅ノ研究	一定地域ノ四十萬分ノ一、十五萬分ノ一、十萬分ノ一ノ地質圖ノ調製	今村善郷 齋藤林次 鹽田勇夫 牛丸周太郎 西田彰一 三井彰一	
	古生物及層位ノ研究	一北票―阜新炭田ニ亘ル中生層ノ層位學的的研究 一北票産恐龍ノ足跡化石ノ調査及北票炭田層序ノ検討	西田彰一 遠藤隆次 西村善郷	
	一般地質ノ調査研究	一關東州金州附近古期岩相調査 一興安東省諾敏河流域地質調査 一興安嶺ハイラル河、根河、トソ河流域地質調査 一興安東省諾敏河堤線定地調査	鹽田勇夫 同野敏夫 内野敏夫 岩下圓	

アルミ貨弊改良ノ研究	ヲ含有ス現下銅ノ節約ノ聲大ナル時之レニ代ルベキモノヲ求メマダホシウムヲ得タリAl-Mg合金ヲ製シ貨弊製造ノ實際ヲ行ハントシツツアリ	小田丸莞 野好子
アルミ送電線ノ強度ニ關スル研究	松花江、鴨綠江ヨリノ送電線ノ最弱點ハ其ノ接合點ニアリ之レガ對策ヲ講ゼントスルモノナルガ試料到リ第着手ノ豫定	田丸莞爾 林三樹男







滿鐵中央試驗所

研究項目	研究ノ目的	研究内容概略	擔當者
物理研究室 電着コバルトノ X線の研究	コバルトノ電着條件ト同 素變態トノ關係ノ究明	電着試料ヲ主トシテX線粉末 法ニ依リテ結晶構造ヲ究ム	奥野源次郎
高粘稠体ノ粘度 測定ニ關スル研 究	ペーヌトノ如キ高粘稠体 ノ高壓力下ニ於ケル粘度 測定	該目標ニ適當セル構造ヲ有ス ル粘度測定装置ヲ新ニ考察製 作シナガラ研究ヲ進ム 粘度 記録機ニハ特殊ノ工夫ヲ施 セリ	同 右
電着金屬被膜ノ 機械的強度ノ研 究	構造用金屬材料ノ疲勞研 究	首記、電着被膜ニ依リテ豫備 研究ヲ行ヒタル後本實驗ニ入 ラントス 發振回路ヲ利用セル強制振動 ヲ試料ニ與ヘテ其ノ振動狀況 ヨリ疲勞ノ状態ヲ研究セント ス	山本彌一郎



3 防火塗料ニ關スル研究	同	同上	同上	同上	同上	同上
4 夜光塗料製造法研究	同	同上	同上	同上	同上	同上
5 耐火布ニ關スル研究	同	同上	同上	同上	同上	同上
アミノリン製造法ニ關スル研究	企業化					
トルエンル合成法研究	未着手					
冶金課	冶金研究室					
瀧産産綿狀鐵礦利用ノ研究	瀧産産硅酸質綿狀鐵礦ノ利用	細粉、磁選、分散劑、磁選等ノ工程ヲ經テ低硅、低磷精礦ヲ得電氣銑原料タラシム	田中弘藏	日下和治		

水銀ヲ使用セザル溫度調節裝置ノ研究	時局柄入手困難ナル水銀ヲ廢シ且水銀ヲ使用スルヨリモ精密度高キ溫度調節裝置ノ構造研究	熱電對ノ熱電動力ノ溫度ニ依ル變化ヲ利用シテ之ヲ適當ニ増幅シ以テ溫度調節ノ目的ヲ達セントス	池田八東
シユリレン法ニ依ル電解液内流動狀態ニ關スル研究	電解機構ノ究明ニ對スル一寄與	未着手	奥野源次郎
貴志研究室	製ス	頁岩油中ノオレフィンノミヲ重合	貴志二一郎 千住未巳
合成潤滑油機構	瀧産頁岩油ヨリ潤滑油ヲ製ス		
瀧戸研究室	瀧戸空務協會ノ依頼ニ依リ實用化及普及ノ豫定		
1 發烟筒製 2 造法研究 3 消火ニ關スル研究	同上		
防衛化學ニ關スル研究			

滿洲産或ル種ノ 以、滿洲産石ヨ リ滿洲ノ分離	高品位マンガシヲ得ント ス	磁選、還元、藥品處理	日下和治 千葉喜美
南方特種鐵礦ヨ リ海綿鐵製造研 究	某方面依頼ニ依ル	1 海南島礦石ト佛印無煙炭ニ 依リ同轉爐製鐵法ニ依リ海 綿鐵ヲ製造スル事ニ成功 2 シンチイト系礦石ノ冶金的 處理	同 石
含ウアチン、 チタン鐵礦處理 ノ研究	熱河省産同鐵又ハ砂鐵ヨ リウアチン、チタンノ 鐵ヲ抽出製鐵セントス	電解法ニ依ル鐵ノ分離後殘渣 ヨリウアチン、チタンノ製 造研究中	深町富藏 石橋鐵也 山添茂
硬ク白ム鐵法ニ 關スル研究	鐵道機關車部分品等廢耗 部分ニ應用セントス	西原式廢耗試驗機ヲ使用シ高 荷重廢耗ニ對シ鍍厚材質ノ影 響ヲ見ントス	深町富藏 大竹良平
浮遊選鐵法ニ依 ル鐵礦處理法ノ 研究	選鐵セル粉鐵礦又ハ南洋 產粉鐵礦處理	該炭製造ノ際ソレニ粉鐵礦ヲ 吸收セシム可ク所謂鐵礦炭製 造ノ條件ヲ調ベル	深町富藏 田中弘藏

貧弱鐵礦製鐵ノ 研究	錦州省瓦房子產其ノ他貧 弱鐵礦石ノ化學的選鐵ヲ 目標トス	多量ニ存在スル鐵ヲルツベ化 シ分離シテ鐵礦中ノ精煉濃度 ヲ高メ且ソレヨリ渣滓ト分離 ノ分離ヲ計ラントス	深町富藏 中本勝市
選鐵研究	滿洲ニ歐存スル無靈鐵ニ 近イ貧弱鐵礦資源ノ經濟的 開發	浮遊選鐵トシテ大豆油、脂肪酸 等ノ油ヲ使用尙操業法 ノ改良、特ニ冬期ニ於ケル操 業ニ就テ	高原大策 特月忠正
浮遊油ニ關スル 研究	滿洲産原料ヨリ浮遊油製 造	高級脂肪酸特ニリノール酸ヲ 主トスルモノガ優良ナルヲ 明カニシ、更ニ硬水並低溫用 水ニモ耐ヘシムベキ方法ニ就 キ實驗中ニテ好結果ヲ見ツツ アリ	葛原大策 島田吉英 濱倉林一
貧弱鐵礦ノ選鐵 ニ關スル研究	錦州省瓦房子產貧弱鐵礦 ノ利用開發	比重選鐵法、浮選法	葛原大策 米原文策 廣野敬一郎 山邊信一郎







<p>滿洲産白樺材ヲ原料トスルパルプ製造研究</p>	<p>製紙用並人絹用パルプノ製造白樺樹皮ノ利用法トシテ其ノ乾溜生成物ノ研究</p>	<p>1 曹達法、硫酸鹽法、亞硫酸法ニヨルパルプ製造完了 2 亞硫酸法パルプノ精製及腐朽材パルプノ研究完了 3 材ニ對スル蒸液液滲透ニ關スル研究及白樺樹及サールノ熱分解ヲ目下研究中</p>	<p>廣田 晃三</p>
<p>滿洲産落葉松材ヲ原料トスルパルプ製造研究</p>	<p>製紙用並人絹用パルプノ製造並硫酸鹽法ニ於ケル蒸煮機構ノ研究</p>	<p>硫酸鹽法ニ於ケル硫化曹達ノ作用ニ關スル研究 白樺材ニハ亞硫酸法落葉松材ニハ亞硫酸法並ニ硫酸鹽法又用莖ニハ曹達法ヲ夫々適用シテパルプ製造實驗ヲ行フ</p>	<p>鴛淵 武雄 内田 潤一 廣田 晃三 安東 正和</p>
<p>纖維素原料中ノペントザンニ關スル研究</p>	<p>ペントザンノ利用並纖維素化學工業ニ於ケルペントザンノ舉動研究</p>	<p>1 ペントザンヨリフルフラールノ製造 2 フルフラールヨリマレイン酸及琥珀酸ノ製造 3 レヴリン酸ノ利用</p>	<p>竹原 茂夫</p>
<p>新原料パルプヲ用ヰル人造纖維ノ製造方法ニ關スル研究</p>	<p>1 潤葉樹及柔木科植物等ノ新原料パルプニ適用シ得ル製造方法ヲ研究シコレヲ原料ヨリ實用價値アル人造纖維ヲ製造セントス 2 新方法ヲパルプ製造工程ノ後半部ニ於テ直結シ一貫的ニ人造纖維ヲ製造セントス</p>	<p>1 ヴィスコース人造纖維製造工程ニ於テ從來同様セラレ來タルアルカウリ浸漬條件ハ新原料パルプニ對シテ不適當ナルコトハ既ニ明カニセラレタル所ナリ 然ルニ在來法ヨリモ稍々高濃度高溫度ニ於テアルカウリ浸漬ヲ行ヒ纖維ヲ損傷セザル限度ニ於テアルカウリ纖維素エヲ製スル方法ヲ採用スレバ前述ノ難點ハ克服セラル此新方法ノ實用化ニ關スル一列ノ製造方法ヲ研究セントス 2 上記ノ方法ハ是ヲパルプ精製工程ト連結シ濕潤パルプヲ用ヒテアルカウリ纖維素エヲ製造スル際ニ有利ナルコトヲ知リ是ニ關スル研究ヲ行ハントス</p>	<p>齋藤 楯夫</p>

木綿系統ノ纖維素以外ノ

特殊アルカウリ浸漬法ニ依リテ



醋酸纖維素ニ關スル研究  
 木材パルプ又ハ草木パルプヲ用ヒテ醋酸纖維素ヲ製シ製品ノ品位ニ應ジテ人造纖維フイルム可塑物塗料等ノ用ニ供セントス  
 パルプヲ精製シ或ハ醋酸纖維素製造ニ於テ得ラルル廢酸ヲ利用シテ前處理的或ハ階段的醋化ヲ行フ特殊ノ方法ヲ採用ス  
 齋藤辰司 高野辰夫

一般有機化學研究室  
 アセチレンヲ原料トスル高分子重合物ニ關スル研究  
 高分子物質及其ノ原料ノ合成並高分子物質ノ物理化學的研究  
 井口俊夫

合成ゴムニ關スル研究  
 クロロブレン系及多硫化物系人造ゴムノ製造  
 日産トクニ程度  
 井口俊夫 内田武彦

天然ゴムニ關スル研究  
 天然ゴムノ利用  
 天然ゴムノ加工並構造ニ關スル究明  
 井口俊夫 和田信

軍用染料  
 滿洲ニ於テ自給自足シ得ル軍用染料ノ製造  
 先ヅ纖維系纖維用染料トシテ硝化系トリブレン系ヲ合成シ更ニソノ堅牢度ヲ改善シツツアリ  
 各種染料、反應溫度、流速ノモトニクロロベンゾールトアミンニ於テトリブレン系ニ作用セシメアミンノ生成量ニ及ボス影響ヲ見ル  
 嶋田吉英 大宮清男

クロロベンゾールヨリ常壓下ニ於ケルフイルムノ合成  
 多量ノアルカリヲ使用セザル燻染樹脂原料タルフイルムノ製造  
 未  
 高級脂肪酸特ニトリブレン酸ヲ主體トスルモノガ優良ナルヲ明カニシ更ニ硬水並低溫用水ニモ耐ヘシムルベキ方法ニツキ實驗中ニテ好結果ヲ見ツツアリ  
 同 右 葛原大策 嶋田吉英 淺倉林一

浮游選領油ノ研究  
 滿洲産原料ヨリ浮選油製造  
 高級脂肪酸特ニトリブレン酸ヲ主體トスルモノガ優良ナルヲ明カニシ更ニ硬水並低溫用水ニモ耐ヘシムルベキ方法ニツキ實驗中ニテ好結果ヲ見ツツアリ  
 葛原大策 嶋田吉英 淺倉林一



<p>硬化炭ニ關スル研究</p>	<p>セントス</p>	<p>計ル (燃焼性ノ研究) 化學的方法</p>	<p>監田利一 千羽富美夫 上田</p>
<p>高壓化學機械研究室</p>	<p>石炭直接液化工業ノ研究ニ關スル研究</p>	<p>高壓高壓(2000氣壓)ノ石炭液化第一反應筒ノ次高壓分解筒ヲ置キ第一第二反應筒ヲ附設セル直列型石炭直接液化裝置ヲ運轉シ化學工業的立場ヨリ研究ヲ遂行ス</p>	<p>阿部良之助 高木智雄 東正夫 大地頼雄</p>
<p>2 高壓瓦斯洗滌ニ關スル研究</p>	<p>上記石炭液化用水素ノ汚損ヲ高壓下ニ於テ回收精製シ經濟的液化運轉ヲ可能ナラシムヲ目標トス</p>	<p>直列型石炭液化裝置ニ高壓洗滌筒ヲ附設シ常温2000氣壓ニ油類ニテ汚損セラレタル瓦斯ヲ洗滌ス此ノ運轉力ヲ得ラ</p>	<p>阿部良之助 高木智雄 西田房雄</p>
<p>3 管式石炭液化法ニ關スル研究</p>	<p>石炭直接液化法ノ飛躍的發展</p>	<p>レタル致値ヲ主トシテ化學工業的立場ヨリ研究ス</p>	<p>阿部良之助 高木智雄 東正夫 橋本國重</p>
<p>4 石炭液化生成物ニ關スル研究</p>	<p>石炭液化生成物即チ生成油、瀝青油ノ各處理法利用法ニ就テ研究ス</p>	<p>石炭直接液化ノ中間試驗裝置ヨリ得タル生成物ヲ試料トシテ研究ス</p>	<p>阿部良之助 高木智雄 白川正之助</p>
<p>高壓化學工業ニ關スル研究</p>	<p>石炭液化第一反應筒ニ於ケル攪拌機構ヲ化學工業的ニ解明スルコトニ依リ石炭液化反應筒設計法ノ確立ヲ目標トス</p>	<p>小型第一反應筒ヲ設計建設シ各種條件ノ攪拌機構ニ及ボス影響ヲ化學工業的立場ヨリ檢討ス</p>	<p>阿部良之助 高木智雄 白川正之助</p>
<p>2 石炭液化高壓裝置ニ於ケル高壓筒ノ破壊ニ關スル研究</p>	<p>高壓反應筒ノ破壊機構ヲ究明シ高壓筒設計式ヲ確立セントス</p>	<p>超高壓油壓唧筒(5000氣壓)ヲ作動シ小型反應筒ヲ破壊シ檢討ス</p>	<p>阿部良之助 遠藤外雄(兼) 早瀬滿丸</p>



3 石炭液化高壓 高温高壓下ノ石炭液化装置ニ於ケル 置ニ對スル水素ノ濃散ニ 水素ノ擴散ニ 構ヲ究明シ最適石炭液化 關スル研究 材料ヲ檢索ス

高壓擴散試験装置ヲ設計之ニ 依リ實驗ヲ行ヒ化學工學的立 場カラ檢討ヲ行フ

阿部良之助  
梅村耕三  
川本禮三

鎮油研究室

蘇順頁岩燧ヨリ 東亞共榮圈全境ニ亘ル鐵 鐵道潤滑油ノ合 道運搬ノ潤滑油ノ自給自 足

蘇順頁岩油ヲ鹽素化シタル後 之ヲ脫鹽素重合スルコトニ依 リ過熱汽筒油並各種鐵道潤滑 油ノ合成

阿部良之助  
高川四郎  
森部昇  
安藤弓夫  
近藤好博  
金子好博  
寺澤正道  
古川多嘉二

鹽素化炭化水素 潤滑油ノ製造ト同時ニ揮 發油、輕油並有機溶劑ヲ 得ントス

炭化水素ノ鹽素化機構ノ研究 鹽素化炭化水素ノ性状ニ電 磁恒磁ノ測定、鹽素化炭化水 素ノ氣相熱分解ニ依ル脫鹽素 並揮發油ノ製造

同 右

耐寒油ノ研究

頁岩輕油ヨリ耐寒油ニ 製造研究

蘇順頁岩輕油中ノオレフィン 分ノ鹽化アルミニウム重合

蘇順頁岩輕油ヨリ耐寒油ニ 製造研究

蘇順頁岩油ニ付稀硫酸洗滌ヲ行 ヒ洗滌油ノ脱蠟並スラツテノ 利用研究中

高川四郎  
安部續昇  
高川四郎  
森部昇  
高川四郎  
寺澤正道  
高川四郎  
阿部良之助  
高川四郎  
金子好博

耐寒油ノ研究

蘇順頁岩油ノ精製 蘇順頁岩油ノ稀硫酸精製 ニ依ルモノニ對シ油ノ製造

北滿使用ノ耐寒油ヲ得ル 下劑ノ研究

蘇順頁岩油ニ付稀硫酸洗滌ヲ行 ヒ洗滌油ノ脱蠟並スラツテノ 利用研究中

高川四郎  
安部續昇  
高川四郎  
森部昇  
高川四郎  
寺澤正道  
高川四郎  
阿部良之助  
高川四郎  
金子好博

合成燃料研究室

一酸化炭素ノ高 壓氣相還元ニ關 スル研究

水性瓦斯ヲ原料トシテベ ンゼンヲ合成スル方法ニ 高壓ヲ適用シ燭煤ノ製油 容量ヲ飛躍的ニ増大セン トス

連續裝置ヲ用フル高壓水素添 加法

阿部良之助  
高川四郎  
森部昇  
安藤弓夫  
近藤好博  
金子好博  
寺澤正道  
高川多嘉二

一酸化炭素ノ高  
 壓液相還元ニ關  
 スル研究

水性瓦斯ヲ原料トシテベ  
 シンガ合成スル方法ヲ  
 液相ニテ行ヒ著大ナル反  
 應熱ノ除去並温度調節ヲ  
 容易ナラシメ新規ナル合  
 成方法ヲ確立セントス

耐壓罐及連續裝置ヲ用フル高  
 壓水素添加法

阿部良之助  
 井上政兼  
 佐野福司

瓦新研究室

合成用原料タル水素ヲ廉  
 價ニ製造スルコトヲ目的  
 トス

特種觸媒ヲ使用シテ水性ガ  
 スヲ加壓下比較的低温度ニ於テ  
 水素炭酸ガスニ交換ス 觸媒  
 ノ選擇反應條件ヲ決定セント  
 ス

阿部良之助  
 米田經宇  
 藤森

高壓水素製造ニ  
 關スル研究

常壓水素製造裝置ノ研究  
 及所内各箇所ニ水素ヲ配  
 給ス

水性ガス發生爐毎時100立方  
 米能力、水素製造裝置  
 立方米能力ヲ有スル半工業的  
 試驗裝置ニ依リ觸媒ノ耐久力  
 反應條件ヲ研究ス

米田經宇  
 吉村徳實

農産化學課 食品醱酵研究室

アセトン・ブタ  
 ノールノ製造ニ  
 關スル研究

1 醱酵ニ關スル  
 研究

2 蒸溜ニ關スル  
 研究

醱酵ニ依ルピタ  
 ミンB<sub>2</sub>複合體ノ  
 合成ニ關スル研  
 究

高壓航空燃料、溶劑等ト  
 シテブタノールノ需要増  
 加セルヲ以テ之ヲ安價ニ  
 製造セン爲

日清ヲ通ジアセトン、ブ  
 タノール、エタノールヲ  
 連続的ニ分離精製スル爲  
 秀ナル蒸溜器ナカリシヲ  
 以テ研究ヲ開始セリ

ピタミンB<sub>2</sub>ヲアセトン、  
 ブタノール醱酵ノ副産物  
 トシテ容易ニ且安價ニ製  
 造セントス

主トシテ南方地區ニ多量ニ産  
 スル蔗糖ノ醱酵試驗ヲ行ヒツ  
 ツアリ

在來ノ酒精蒸溜器ヲ僅カニ改  
 造セルノミニテ高純度ノアセ  
 トン、ブタノールヲ連續的ニ  
 得ルニアリ

玉蜀黍高粱等ヲ原料トシブタ  
 ノール生産菌ヲ用ヒテ醱酵セ  
 シムル際鉛化合物ノ微量ヲ添  
 加シテピタミンB<sub>2</sub>ヲ生成セン  
 メントスルニアリ

味ノ素或ハアミノ酸製造ノ目  
 的ヲ以テ大豆粕其ノ他ノ蛋白  
 質含有物ヲ鹽酸ニテ加水分解  
 スル時生ズル分解残渣(黒粕

六所文三  
 富中慶之助

六所文三  
 大木説喜松

六所文三  
 福留文三





ビタミンB製 造ニ關スル半工 業試験	大豆抽出廢液其ノ他ヲ原 料トスルビタミンB製 製造	滿州産主要食糧ノ營養價 ノ測定並消費食糧ノ調査	廢液中ノ糖分ヲ利用シテ酵母 ヲ培養シ之ニ溶液中ノB1ヲ吸 着セシム	井 爪 清 一 勇
滿人労働者ノ食 糧及榮養ニ關ス ル調査並研究	各種穀類ノ副生物タル糖 及胚芽其ノ他ヲ利用シ藥 用及パン用酵母ヲ製造ス ルニアリ	糖及胚芽ヲ常壓ニ於テ酸酵化 シ之ニ適當ナル榮養劑ヲ補給 シ酵母ヲ通風培養シ含有ビタ ミンB1ヲ集積セシメル並培養 條件ヲ適當ニ變化シ酸酵力保 存力大ナル酵母ヲ得ントス	動物試験ニ依ル榮養價ノ測定 寄宿家庭等ニ於ケル食糧消 費上ノ調査	井 爪 清 一
糖及胚芽ノ利用 ニ關スル研究及 パン酵母製造ニ 關スル研究	乳兒用母乳代用品並牛乳 代用品ヲ煉乳狀又ハ粉乳 狀トシテ製造スルニアリ	蛋白質トシテ大豆蛋白質ヲ用 ヒ之ヲ安定ナル乳濁液トナシ タル後必要ナル榮養素及油脂 ヲ混入シ乳狀液ヲ製造シ之ヲ 濃縮シテ煉乳ト爲スカ又ハ乾 燥シテ粉乳トス	糖及胚芽ヲ常壓ニ於テ酸酵化 シ之ニ適當ナル榮養劑ヲ補給 シ酵母ヲ通風培養シ含有ビタ ミンB1ヲ集積セシメル並培養 條件ヲ適當ニ變化シ酸酵力保 存力大ナル酵母ヲ得ントス	栗 原 敬 一
牛乳代用品製造 ニ關スル研究	乳兒用母乳代用品並牛乳 代用品ヲ煉乳狀又ハ粉乳 狀トシテ製造スルニアリ	蛋白質トシテ大豆蛋白質ヲ用 ヒ之ヲ安定ナル乳濁液トナシ タル後必要ナル榮養素及油脂 ヲ混入シ乳狀液ヲ製造シ之ヲ 濃縮シテ煉乳ト爲スカ又ハ乾 燥シテ粉乳トス	糖及胚芽ヲ常壓ニ於テ酸酵化 シ之ニ適當ナル榮養劑ヲ補給 シ酵母ヲ通風培養シ含有ビタ ミンB1ヲ集積セシメル並培養 條件ヲ適當ニ變化シ酸酵力保 存力大ナル酵母ヲ得ントス	船 津 勝

ビタミンB製 造ニ關スル研 究	ビタミンB製 造ニ關スル研 究	主トシテ植物體ニビタミンB 源ヲ求メ之ヨリ抽出シ安定ナ ル濃厚液トナス爲ニ必要ナル 研究ヲ爲ス	血液ヲ分離シテ血清及血球部 分トナシ前者ヨリ膠着劑後者 ヨリビスチン酸ハ此レヲ聯 素分解シテペプトンヲ製セン トス	細 井 敬 三
廢場廢物利用ニ 關スル研究 (血液製法)	從來アマリ願ミラレヌ血 液ヲ工業的ニ活用セン トス	血液ヲ分離シテ血清及血球部 分トナシ前者ヨリ膠着劑後者 ヨリビスチン酸ハ此レヲ聯 素分解シテペプトンヲ製セン トス	血液ヲ分離シテ血清及血球部 分トナシ前者ヨリ膠着劑後者 ヨリビスチン酸ハ此レヲ聯 素分解シテペプトンヲ製セン トス	井 爪 清 一
皮革 研 究	皮革 研 究	皮革 研 究	皮革 研 究	井 爪 清 一
皮革 速 乾	16日-15日間ニテ皮革ヲ 遠隔シ製造費タシニシテ ヲ節約セシム	石灰ニ依ル脆毛皮ヲ浸漬スベ キタシニシテ水素イオン濃 度ヲ管理シ又高壓高周波ヲ使 用シ遠隔セン	石灰ニ依ル脆毛皮ヲ浸漬スベ キタシニシテ水素イオン濃 度ヲ管理シ又高壓高周波ヲ使 用シ遠隔セン	久 我 敏 郎
パルプ廢液ヨリ タンニン製法	パルプ廢液ヨリ適切有効 ナル製法ヲ製造ス	パルプ廢液ヨリリグニンスル フオン酸ヲ抽出シタタムアル ニシテ、鐵等ノ重合物ヲ造 ル	パルプ廢液ヨリリグニンスル フオン酸ヲ抽出シタタムアル ニシテ、鐵等ノ重合物ヲ造 ル	同 右

合成タシニン線 製法	合成タシニン割製法ノ研 究ヲ行ヒ之ガ工業的使用 ヲ研究ス	濃度或ハ水素イオン濃度ヲ調 節シ種々異リタル條件ノ下デ 実験試験ヲ行フ	龜岡 丁一
セリチン	滿洲産豚皮ヲ原料トシ寫 眞乳劑用セリチンヲ製造 セントス	常壓ニ依リ或ハ改良法ニ依リ セリチンヲシ其ノ理化學 的膠質化學的性質ヲ試験ス	秋 貞 眞一郎
無機 化學 課 電氣化學研究室	北京粘土ヲ原料 トスル純アルミ ヲ製造ノ研究	1 苛性ソーダ燒成法 2 ソーダ石灰法	有 森 前川 謙 郎
硫酸法ニ依ル純 アルミヲ製造ニ 關スル研究	同 右	半工業試験	有 森 小西 幸 雄
硝酸法ニ依ル純 アルミヲ製造ニ 關スル研究	同 右		神 林 信 夫
弗化マグネシウム又ハ酸化マ グネシウムヲ炭化石炭ニテ造 元蒸溜ヲ同時ニ行フ			有 森 小西 幸 雄

礬土頁岩ノ特性 ニ關スル研究	マダカイトノ 直接還元ニ依ル 金屬マグネシウム ノ製造ニ關スル 研究	弗化マグネシウム又ハ酸化マ グネシウムヲ炭化石炭ニテ造 元蒸溜ヲ同時ニ行フ	有 森 佐 藤 弘 一
アルミニウム精 製ニ關スル研究	高純度アルミニウムノ製 造及アルミニウムノ再生	4 低温熔解法ニ依ル電解精 製 5 再結晶法ニ依ル精製	有 森 安 井 隆 二
輕金屬ノ直接製 造法ニ關スル研 究	滿洲産及北支産粘土ヨリ アルミニウムノ直接製造	炭素、炭化石灰等ニ依ル高温 還元	有 森 石 橋 桐 吉
熔鹽電解ノ研 究	アルミニウム及マグネシ ウム其ノ他輕金屬電解製 造	未 着手	有 森 藤 川 謙 造
純化アルミニ ウム製造ノ研究	アルミニウム精製用及精 滑油等製造用純化アル ミニウム	同 右	同 右





建築用保温煉瓦ノ製造研究	高千谷硝子ノ研究	等ヲ製造スル研究
瀟湘ニ適スル建築用赤煉瓦ニ代ル保温煉瓦ノ製造研究	硬炭、石炭灰、粘土等ヲ主原料トシ之ニ石灰石ト同マイトヲ加ヘ製品中ノ有機物ヲ完全ニ燃焼セシムル保温煉瓦ノ製造	西尾 義 雅
一般無機化學研究室	難溶性加里鹽トシテ沈澱セシムル方法	田中 泰 夫 高砂 昌 三
鹽田苦汁中ノ加里ノ回收	含炭化合物ノ物質ノ添加ニ依ル	田中 泰 夫 高砂 昌 三 高木 伴 篤
マダネシア耐火物製造研究 1. マダネシアク リンカーノ低 温燒成 2. マダネシア煉 瓦ノ製造	南滿鐵業株式會社	

無機質肥料ノ製造 1. 泥炭ノアソ化 2. 加里鑽石ノ利用	非吸濕性肥料ノ製造	アソ化泥炭ト吸濕性肥料ノ混合ニ依ル非吸濕性肥料	小黒 一 男 田中 泰 夫
高周波電氣用陶瓷器ノ製造研究	瀟湘産原料ニ依ル製造	加里鑽石ノ鹽化燒成	田中 泰 夫 高木 伴 篤
接觸力ニ反應ニ關スル研究 1. 熱擴散管ヲ利用スル力ニ反應	タルシウスノ熱擴散管ノ力ニ反應ヘノ應用	添加劑ニ依ル燒結ノ増進	田中 泰 夫 齋藤 秀 夫
2. 燐煤ノ製造方法ニ關スル研究	固體燐煤ノ製造方法	反應ノ圓滑ナル進行及生成瓦斯ノ同時的除去	廣田 一 男 小黒 一 男
		混合燐煤ノ沈澱條件其他ニ就テ	齋藤 秀 夫

熱擴散法ノ應用 ニ關スル研究	工業用瓦斯ノ分離濃縮並 溶液ノ濃縮	タルシウスノ熱擴散装置ニ依 ル	廣田 小島 一男
特別研究室	水素及炭化石灰ノ製造	水素利用ニ依ル水素及炭化 石灰ノ製造	上池 三郎
多クシニ依ル鹽 類ノ製造	パトリウム鹽類及二硫化炭 素等ノ製造	多クシ及重晶石ノ原料トスル 製法	同 右
人造炭素 工業用良質電燈製造	工業用良質電燈製造	未着手	上池 修
2 活性炭ノ製造	中活性炭ノ製造	同 右	同 右
水性アクリル ソフタノールノ 製造	航空燃料ノ製造	高壓高温下ニ氣相ニテ觸媒的 合成法	根岸 良二 磯部 千晴
低級アルコール ヨリブタノール 類ヲ製造スル方 法	航空燃器及航空塗料	カールバイト存在下ニ於テ低級 アルコール類ヨリブタノール 及高級ブタノール及高級アル コール類ヲ製ス	同 右

炭化水素化合物 ノ分離	トルエン、イソブタン ノ分離	共沸蒸溜法ニ依ル	根岸 良二 磯部 千晴
潤滑油ノ物理化 學的的研究	優良ナル潤滑油ノ製造	粘度及油性ニ就テノ研究	木村 修
蒸餾真岩油ノク ラツキングニ依 ルソレフィン其 ノ他ノ製造	ブタジエンガソリン等ノ 製造	氣相熱分解及生成ソレフィン ノ重合	同 右
アセチレンノ重 合	ベンゾール、トルエン ノ製造	熱擴散ヲ利用スル重合反應	同 右
液體燃料合成ニ 關スル研究	フイツシヤール合成法並其 ノ觸媒ノ基礎的ニ依リ工 業化有効適切ナル方法ヲ 確立セントス	合成反應ノ機構並觸媒機構ヲ 明カニシ以テ企業化ノ際ノ系 統的、合成ヲ助成セントスル モノニシテ三トシテ物理化學 的ニ檢討スルモノナリ	濱井 喜藏
フイツシヤール 合成法	フイツシヤール合成トカール トニ	フイツシヤール合成トカール トニ	

四 滿 鐵 撫 順 炭 礦 研 究 所			
研 究 項 目	自 的、内 容、概 略	擔 當 者	
低溫多ール成分利用ニ關スル研究	主トシテ酸性分ノ分離ヲ行フ事ヲ目的トシ目下瓦斯液中ヨリブレンツカチキ ン及ホモブレンスカチキンノ分離方法 ノ工業化ヲ研究中ナリ	飯 田 武 夫	
頁岩油成分分離ニ關スル研究	頁岩油中ニ含マレル炭化水素以外ノ酸 性分、鹽基成分等ノ組成ヲ知ル爲ニ多 ロマトグラフ法ニ依リ頁岩成分ノ分離 ヲ行ヒツツアリ	飯 田 武 夫	
頁岩油高級鹽基成分ノ分解ニ關 スル研究	加壓下ニテ水添分解ヲ行ヒ低級鹽基成 分ノ生成セントス	飯 田 武 夫	
頁岩油硫酸滓ノ中和ニ關スル研 究	硫酸滓ノ中和ヲ目的トシ乾溜瓦斯吹込 方法ニ依リ乾溜瓦斯中ノアムモニ 結合セシメ硫酸アンモニウムヲ 下工業試驗中	伊 東 篤	

2. フイツシヤ クイブ合成反 應トシテパイ ド反應トノ結 合ニ依ル新燃 料合成法	從來ノフイツシヤ法合 成油ノ性能ヲ改善シ收量 ヲ増大セントスルモノナ リ	濱 井 專 藏
頁岩油ノ物理化學 的研究	頁岩油ノ本質ヲ検討シ 以テ合成化學ニ寄與セン トス	濱 井 專 藏 八 木 小 虎
	依テ反應系ニ於ケル熱力學的 平衡ヲ人進石油合成反應ノ方 面ニ有利ニ導カントスル方法 ヲ活用シ同時ニ反應機構ヲ明 カニシ以テ工業化ノ助成ニ資 セントスルニアリ	濱 井 專 藏
	電子線遮斷ヲ應用シ頁岩油 ノ本質ヲ明カニセントスルモ ノナリ	濱 井 專 藏 八 木 小 虎



頁岩油中和酸滓ノ利用ニ關スル研究	頁岩油ノ接觸分解ニ關スル研究	頁岩油ノ溶解抽出ニ關スル研究	連續餾炭化方法ノ工業試驗	活性炭ニ依ル乾溜瓦斯中ノ揮發油ノ吸着試驗
石炭液化用ベスト原料トシテ利用スル事ヲ目的トシ其ノ水添條件及生成物ニ關スル基礎試驗ヲ行フ	頁岩油ノ接觸分解法ヲ行ヒタル時ノ條件及生成物ニ關シ研究ヲ行フ	頁岩油ノ溶解抽出法トシテ適當ナル溶劑ノ選定ヲ目的トス目下アルニ依ル抽出法ヲ採用シ精製油及揮出油ノ管狀及利用法ニ關シ研究中	ニツトスニテハ釜底ノ損耗甚ク此ニ代ルヘキ方法トシテパイプニテ連続餾炭塔トシテ連續的ニ切替作業ヲ以テ餾炭ヲ製造セントシ目下中間工業試驗ヲ行フ	乾溜瓦斯中ニハ猶ロ日當リ15瓦ノ揮發油ヲ含有スルカ故ニ吸着法ニ依リ揮發セントス目下吸着條件ト活性炭ノ壽命トノ關係ヲ研究中
安藤正幸	伊東篤	外河益三	仁林壽木	上田孝

吸着ガソリンノ利用ニ關スル研究

吸着ガソリンノ性状ヲ明カニシソノ利用方法ヲ決定セントス目下潤滑油合成ノ原料トシテ利用スル研究ヲ行ヒツツアリ

大塚毅一

滿洲電信電話株式會社技術研究所

研究項目	研究目的	研究内容ノ概略	擔當者
重合饋還增幅器	廣帯域ニシテ良好ナル增幅器ヲ得ントス	二ケ乃至數箇ノ増幅帯域ヲ異ニセル增幅器ヲ並列ニ重合シ一括饋還シタル時ノ特性並ニ其設計理論ノ研究中	黒田滿輝 生田滋
補助增幅器ニヨル安定饋還方式	補助增幅器ヲ附加スルコトニ依リ著シク饋還度ヲ大トナシ得負饋還シテ効果ヲ安定且大トナサントス	主增幅器ノ發振角周波數ニ於テ最大増幅度ヲ有スル如キ補助增幅器ヲ入力回路ニ並列ニ附加シ負饋還スルコトニヨリ發振周波數ニ於ケル増幅度ヲ安定圈内ニ置ク事ヲ得セシムル如ク理論的實驗的ニ研究中	黒田滿輝 徳永秀男
反射波ニ依ル線路障害點ノ發見法	主トシテケーブル線路ノ故障點ヲ局内ヨリ迅速ニ測定セントス	交流ヲ線路ニ送り反射シ來レル波ヲ送端ニ於テ獨立差及雜増幅率相違ヲ讀取テ故障點ニ至ル距離ヲ測定セントスルモノナリ	黒田滿輝 岩崎信雄

位相變換通信方式	主トシテ無線通信ニ於テ混信空電ノ妨害ヲ除去シ秘密性ヲ高メントスル通信方法	變調周波ノ位相ヲ電信電流ニ應ジテ變換シテ送信シ受信側ニテ之ト同期復調スル特殊受信装置ニ依リ鋭敏ナル選擇性ヲ有スルハシカモ秘密度高キ通信回路ヲ得タリ	黒田滿輝
通信增幅器	安定ニシテ高利得ナル直流及低周波ノ增幅器ヲ得ントス	兩發送機出力ヲ濾波器ヲ通ジテ一箇ノ空中線ニ導入シ兩發送相互間ノ干渉ヲ防止ス	黒田滿輝
空中線共用方式	唯一箇ノ空中線ヲ使用シテ二重放送ヲ行フ	空中線導體途中ニ適當ナル回路網ヲ挿入シテ何レノ周波數ニ對シテモ最適寸法ノ空中線ヲラシム小空中線ニ實施濟ニシテ大電力用計畫中	保阪敬太郎
近接平行空中線	近接平行線ヲ用ヒテ一層	二箇ノ導體ノ近接シタ場合ノ	保阪敬太郎





自働交換機ニ適 スル油ノ調査研 究	獨逸品ノ輸入杜絶ニヨリ 代用品ヲ研究セントスル モノナリ	大陸科學院、滿鐵研究所津浦 線研究	鈴木信男
共同加入電話通 話傍聴防止裝置	共同加入電話ノ利用似値 ヲ増大セントスルモノナ リ	共同加入電話ノ一方ガ通話中 他方ニヨル傍聴ヲ防止スルモ ノナリ	鈴木信男
共同加入電話各 種度數登算器	共同加入電話ノ利用價値 ヲ増大セシメントスルモ ノナリ	共同加入、甲乙兩加入者ノ通 話度數ヲ別箇ニ登算セシムル モノナリ	鈴木信男
度計ニヨル自 利得制御ノ研 究	通信線路ノ働作ヲ安定セシ メントスルモノナリ	溫度計ニ或裝置ヲ施シテ溫度 變化ニヨル利得ノ變動ヲ自働 的ニ制御セシムルモノナリ	勝田精一郎
線路架設工法機 械化ノ研究	裸線搬送電話ノ漏話ヲ輕 減セシメントスルモノナ リ	裸線搬送電話ニ適應スル交又 方法ヲ研究決定シ線路ノ傳送 特性ヲ向上セシムル	天野直道
	通信線路ノ架設ヲ迅速ナラ シメントスルモノナリ	建柱、架線等線路工機 械化ニシテ研究ナリ	天野直道

手働局ニ於ケル 度數登算器	手働局ニ於ケル通話度數 ヲ調整スルタメナリ	手働局ニ於ケル加入者ノ通話 數ヲ自働的ニ登算セシムルモ ノナリ 携帯用及固定用ノ二 種ヲ研究ス	赤木研三
現字紙送信機		特殊インク使用ノ現字紙ニヨル ル中繼電報取扱ノ機械化特殊 インクニ就テ研究中	福田益位
電信交換方式調 査		米國リツチモンド局現用方式 ノ實施ニ伴フ研究本年內基礎 方式決定豫定	藤木榮
電氣的繼電器		機械的繼電器ノ代リニ真空管 又ハ金屬整流器ヲ使用セル各 種直流方式ノ研究ニシテ繼電 器ノチャタリング等ヲ除 去セントス既ニ各種ノ研究 ルモノ最良方式ヲ決定實施セメ	藤木榮
特殊AOSR特殊アルミ撚線 アルミ合金線ノ諸特性ヲ研究 シ通信線トシテノ利用價値ヲ 研究スルモノナリ	銅線ヲ代用セシメント スルモノナリ		天野直道

高速度自動送信機	本邦本年交際開通及搬送方式 貸取開始豫定	福田益位
印刷電信機ノ簡易化	ホキートストン自動送信機ノ 機構ヲ簡易化シ且ツ高速度送 信ヲ通スル送信機ヲ研究本年 中ニ試作豫定 同期方式ヲ送信電流ニ依リ受 信側ヲ制御シ以テ同期ヲ簡易 化セントス	福田益位

研究項目

<p>分析方法ノ改良ニ關スル研究 (1) 弗化物迅速定置ノ研究 (2) アルミナ熔融法ノ改良 (3) アルミナ簡易重量分析法 (4) 微量カルシウムノ定置法 (5) 精製工場粗液中ノ珪酸及アルミナノ迅速分析法 (6) 電導度測定法應用ノ分析法 (7) 光度計應用ノ分析法</p>	<p>研究内容ノ概略 氷晶石製煉浴ノ現行分析法ハ煩雜ニテ正 確ナル點アリ之ガ迅速簡易化ヲ 究スルト共ニ新法ヲ索出セントス。 行法ニ於ケル重硫酸加里ニ代フルモノ ヲ尋求シ簡易迅速經濟化スル アルミナノ高濃加熱ヲ行フ現行重量法ヲ 改良シ低濃重量法ノ試験ヲ行フ。 (電熱体ノ不足ニ依ル) アルミナ地金中ノ微量カルシウム定置ノ 正確迅速ナル分析法ヲ探求ス。 新法ヲ索出ヲ行ハントス。 電導度測定裝置ヲ用ヒ酸アルカリ中和法 ヲ應用シテ液類ノ組成ヲ簡易迅速ニ知ラ ントス。 珪寸鐵礬土頁岩其他原材料中ノチタンノ 迅速分析ヲ目的トス。</p>	<p>擔當者 吉丸美徳 袴田修治 島山徳彌 右 同 千葉吉朗 袴田修治 西田禎三 町田和夫 西田禎三</p>
---	--	--

めくれず

<p>(8) 地金中ノ酸化物定量法  (9) 地金中ノ銅比色定量法  (10) 光電比色計ノ應用  (11) 分光分析法ノ利用  當在現行鑒定石灰法ノ改良ニ關スル事項  (1) 自崩壊性鑒定石灰製造條件ノ決定  (2) 自崩壊性鑒定石灰抽出條件ノ決定  (3) <math>Al_2O_3 \cdot CaO \cdot SiO_2 \cdot H_2O</math> 系ノ研究</p>	<p>本分析法ニ就テハ的確ナルモノナシ。迅速簡易分析法ヲ決定セントス。地金分析ニ實施セル現行肉眼ニ依ル比色法ヲ改良セントス。地金中ノFe<sub>2</sub>O<sub>3</sub>。定量法ノ研究結果ヲ工業分析ニ利用セントス。  當社電爐工場ノ製品ノ粉碎工程省略ヲ目的トス。  上記試験製品ノ抽出最適條件ヲ探求決定ス。  鑒定石灰ノ性質ヲ解明シ且原料ヨリ混入スル善土ノ影響ヲ知ラントス。</p>	<p>小出 又雄  右 同  右 同  剛 田 馨  竹 内 肥富美  山 田 徳夫  井 料 政吉</p>
---	---	--

<p>(4) 抽出及脱珪酸法ノ改良  (5) アルミン酸曹選液ノ本質並ニ之ガ炭酸化機構ノ研究  曹選石灰法ニ關スル事項  (1) 各種曹選源ヲ利用スル方法  (2) 曹選損失ノ究明  (3) 抽出残渣ノ物理的並ニ化學的性質ノ研究  (4) 中型鋼鐵爐ニ依ル工業試験  (5) 大型鋼轉爐ニ依ル工業試験</p>	<p>現行法ヲ改良シ抽出ト脱珪酸ヲ同時ニ行フ方法ヲ考出セントス。  最適炭酸化條件ヲ求メントス。  曹選灰以外ノ曹選源例ヘバ食鹽、芒硝、苛性曹選ヲ利用スル方法ノ研究  燒成時並ニ抽出時ノ曹選損失ヲ精査ス。  残渣ノ組成凝結性其他研究  顆粒狀袋入式燒成試験、低品位原料ヲ使用スル試験、混式燒成試験、微粉炭燃焼同變質試験等。  セメントキルンニ依ル燒成試験及之ガ製品抽出試験</p>	<p>山 田 徳夫  町 田 和夫  内 川 良和  柴 川 良和  中 澤 幾次  内 田 慎一  茅 壁 慎一  右 同  小 倉 武登  住 谷 耕龍  長 谷 部 耕作  長 谷 部 耕作</p>
--	--	--



炭素電極ニ關スル事項

- (1) 乾原料試験方法ノ改良
  - (2) 電極糊試験方法ノ改良
  - (3) 結合劑試験方法ノ改良
  - (4) 電極原料ノ適否試験
- 助劑ニ關スル事項
- (1) 水晶石製造法
  - (2) 天然産及人造水晶石ノ性質比較
- アルミニウム電解ニ關スル事項
- (1) 電解瓦斯回收率ノ向上
  - (2) 低溫電解浴ノ研究

易碎後ノ硬度、抗壓力、顯微鏡組織等ノ試験方法及裝置ニ付改良ヲ行フ。

煆成時ノ變形或ハ煆成品ノ機械的強度等ヲ測定スル裝置ヲ改良ス

粘度結合カ等ノ測定方法及裝置ノ改良ヲ行フ

各種乾原料及結合劑ノ適否試験及最適使用條件ノ決定ヲ行フ。

螢石ヲ硫酸鹽土ニテ分解シ之ニ芒硝ヲ加ヘル水晶石製造條件決定其他ヲ行フ。

熱分解狀況其他比較

電解工場トノ協力ニ依リ現状ノ實測及能率向上對策ヲ確立スルコト

各種鹽類ノ組合セニ依リ低溫作業ヲ行ヒ得ル電解浴ヲ探求ス。

金城記典

竹内高野三郎

重松米一郎

金城記典

横山泰

右同

藤本謙吉

右同

- (3) アルミニウム及助劑中ノ不純物ガ電解ニ及ボス影響
- (4) 電解浴組成ノ簡易鑑別法

炭化物ノ炭酸根、石灰、水分等ノ許容限度ノ確定  
現場鑑定法ノ研究

アルミニウム地金及合金ニ關スル事項

- (1) 國産地金ノ特質研究
- (2) 滿鐵A合金線ノ試製
- (3) 銅及ニッケル代用アルミニウム合金ノ研究
- (4) パントグラフ聚電体用金具

瓦斯分析、瓦斯除去、熔融處理、耐蝕性、鑄造、加工、機械試験等ヲ行ヒ國産地金ノ特質ヲ知り品質ノ改善、作業ノ指針トス

昭和十六年度ニ於テ一應ノ研究ヲ終ヘタル本合金ヲ當社素材工場ノ協力ヲ得テ試製スルト共ニ試製品ノ實地使用試験ヲ行ハントス。

耐熱、耐腐蝕性合金ノ研究

右同

右同

森永卓

大林養太

松野尚義

水間吉

池野秀

長澤秀雄

森永卓

青森耕三



(4)工場内空気が試験	当社内各工場ノ空気が汚濁ノ状態ヲ試験セントス	相原美哉
(5)硫酸アルミニウム試製	主トシテ水道浄水用ノ目的ニテ試製	土居義朝
(6)X線ニ依ル試験及研究	X線装置ヲ使用シ金屬及鹽類其他ノ試験及研究	中西雄三
(7)セリウムノ電解製造	發火合金ノ試製	市村重幸

七 滿洲化學工業株式會社研究所

研究項目	目的	内容ノ概略	擔當者
アンモニア合成 觸媒研究	アンモニア合成觸媒製造	觸媒フォーミング條件ニツキ 試験續行中 一酸化炭素ノ微量分析法トシ テ血液法ヲ研究シ或ル程度 満足スベキ結果ヲ得 ニニツケル廢觸媒回收ニ就テ ハ硝酸ニツケルトシタル後 之ヲ炭酸ニツケルトシ擔體 ニ附着セシメル方法研究中	村山哲朗
アルミナ及肥料 製造研究	滿鐵中央試験所ト聯絡シ 硫酸法ニヨリ滿洲産低品 位礬土頁岩ヨリ硫酸トア ルミナヲ製造セントスル 研究、ソノ他	硅酸質アルミナ資源トアルカ リ土類ヲ不純物トスル磷礦石 又ハ磷灰石トノ反應ニヨリ純 アルミナ及拘核酸可溶性磷酸 肥料ノ製出法ニツキ研究ヲ行 ヒ其ノ可能ナル事ニツキ確信 ヲ得 アンモニア曹達法廢棄鹽化石	高井正二 萩谷正巳 久保田稔 池野亮當



大華鑛業株式会社

研究項目	目的	内容ノ概略	擔當者
海綿鐵製造法	鑽石ヨリ純鐵製造企業化	低品位石炭ヲ利用シテ堅型レトルト式還元爐ニ石炭ト鑽石ヲ混合シテ外壁ヨリ加熱ス	上島大助
純鐵熔解精煉	高級材(銅代用品、高級熔接棒)企業化	海綿鐵ヲ原料トシテ電氣爐熔解精煉	同 伊藤寅視
飛行機用ベアリ シク約	海綿鐵原料ニ依ル高性能ナルモノ企業化	海綿鐵ヲ原料トシテ從來ヨリ優秀品ヲ作ルベク特殊元素ノ添加ト電氣爐製鋼法ニ依ル	萩原三平 伊藤寅視
高級ピアノ線	軍用最高級品ノ製造企業化	同 右	萩原三平 原英志郎
芯入高速度鋼及 特殊形状工具地 金	資材節約企業化	芯材トナルベキ高速度鋼ヲインゴットノ時中心ニ植込ミ、之ヲロールスルニアリ	上島慶篤 萩原三平 伊藤寅視
超硬質合金	高性能切削工具企業化	自家鑛山産タングステンヲ使用シテ燐質合金ヲ作り時ニジ	上島慶篤 萩原三平

有機關係研究	有機化合物(藥品)製造	灰ト固体炭酸アンモニウムトノ固相間反應ニヨル鹽安肥料ノ製造ニツキ研究中	池田幸平
		ズルフアミン劑製造装置ノ設置ニ關聯シテ之ト製造行程及必要設備略同様ナルクロラミンE、クロラミンB、サツカリン等ノ製造方法ニツキ研究、尚醋酸ヲ使用セズシテズルフアミンヲ製造スル方法ヲ研究シ或ル程度ノ成案ヲ得	

防盾鋼板	無ニツケル高性能ナルモノ	ルコニウムヲ加ヘル	原與志郎
一般高級特殊鋼	企業	海綿鐵原料ニヨリニツケルヲ使用セズ他ノ元素ヲ加ヘテ高性能ノモノヲ得ントスルニア	萩原三平
特殊耐火煉瓦	滿洲産原料	滿洲産硅石	萩原三平
			池田三平

昭和製鋼所研究所

基本研究之部 (鑛工業之部)

鑛石及選鑛ニ關スル研究	後藤大今	擔當者
1 鐵鑛石ノ浮游選鑛ニ關スル研究	後藤泉又	
2 石炭ノ浮游選鑛ニ關スル研究	後藤同	
3 滿掩、螢石其他各種鑛石ノ浮游選鑛ニ關スル研究	後藤同	
4 各種鑛石ノ性質ノ調査及研究	後藤同	
5 鐵鑛ノ燒結及團鑛ニ關スル研究	後藤同	
6 微粒鑛石ノ水力輸送ニ關スル研究	後藤同	
7 貧滿掩鑛ノ利用ニ關スル研究	後藤同	







- 3 エタンノ脱水素ニ關スル研究
- 4 合成油處理法ニ關スル研究
- 5 ビツ子油ノ研究
- 6 潤滑油ノ製造研究
- 7 水素添加觸媒促進劑ノ研究
- 8 有機化合物ノ熱分解ニ關スル研究

社内資源利用ニ關スル研究

無機資源ニ關スルモノ

- (1) 尾鑽ヨリ水ガラス及シリカゲルノ製造ニ關スル研究
- (2) 尾鑽煉瓦製造ニ關スル研究
- (3) 脫硫ソノ夕滓ノ利用ニ關スル研究

谷 一石谷 谷 坂 種谷  
 田 木 田 田 本 子  
 同 同 貞 時  
 繁 繁 健 繁 時  
 夫 夫 夫 彦 治

武高多渡 馬西三 石  
 安月田邊 場田田 垣  
 幸住高正 逸一正 用  
 子榮治樹 郎 樹

- (4) フェロマンガソノ利用ニ關スル研究
- (5) 酸性芒硝利用ニ關スル研究
- (6) カーボン黒ノ夕滓ファイト化ニ關スル研究
- (7) アムモニヤ酸化ニ關スル研究

有機資源ニ關スルモノ

- (1) クロルベンゾールヨリ石炭酸ノ合成
- (2) クロルベンゾールヨリアニリンノ製造研究
- (3) チメチルアニリンノ合成ニ關スル研究
- (4) トルイチンノ合成ニ關スル研究
- (5) キノリン類ノ利用ニ關スル研究

佐石渡 星西 渡 多石渡  
 藤垣邊 田 邊 田垣邊  
 信用正 誠一 正 高用正  
 一佳樹 志雄 樹 治佳樹

平森 井森 平 草森  
 手井 上井 山 川井  
 同 深英 繼 英  
 夫二 水二 男 博二

- (6) アセナフテンノ利用ニ關スル研究
- (7) キノリン鹽基類ノ分解ニ關スル研究
- (8) アントラセンノ利用ニ關スル研究
- (9) インタンスレン系染料合成ニ關スル研究
- (10) ヒドロロン染料ノ合成ニ關スル研究
- (11) 合成タンニンニ關スル研究
- (12) カーボン黒ノ品質改善ニ關スル研究
- (13) 各種醫藥類(タアヤコール、フエナセチン、アンチピリン、アミノピリン等)ノ製造ニ關スル研究
- (14) 合成樹脂ニ關スル研究
- (15) 有機化合物ノ接合型氣酸化ニ關スル研究

馬鍋林篠 齊實 森赤 岡喜秋 喜秋 草森秋 喜秋 井秋 平森  
 場谷 山 藤升 川星 多本 多本 川井本 多本 上本 手井  
 源賢正、 良敏 利 一芳千 芳千 英千 芳千 深千 同 敏英  
 一造治博 司人 秋勝 男藏秋 藏秋 博二秋 藏秋 水秋 夫二

- (16) 硝化反應ノ研究
- (17) 鹽析ニ關スル研究

津赤 王赤  
 本星 井星  
 晶 健  
 季勝 夫勝

ハ 試験並分析法ニ關スル研究

- 1 鐵鋼中ノ微細定率成分ノ分析ニ關スル研究
- 2 鐵鋼類ノ特殊分析法ニ關スル研究
- 3 煉瓦類ノ規格並試験法ニ關スル研究
- 4 骸炭品位判定法ニ關スル研究
- 5 分光分析ニ關スル研究
- 6 X線結晶分析ニ關スル研究

規模試験之部

- 1 鐵鑛石ノ浮游選鑛試驗

葛松後  
 原塚藤  
 大清有  
 策人一

森 石渡 西長 小西三 渡阿 風河  
 川 垣邊 村谷 畑田田 邊部 間郵  
 之 用正 晴 政一正 正 太  
 芳 佳樹 雄章 男雄揚 樹徹 郎徹



- 2 螢石ノ浮游選鑛試験
- 3 石炭ノ浮游選鑛試験
- 4 鐵鑛石ノ還元磁化焙燒試験
- 5 交旅磁選機實用試験
- 6 關嶺ニ關スル工業試験
- 7 海綿鐵製造試験
- 8 含ニツケル鐵製造試験
- 9 マグネシヤ焙燒煉瓦製造試験

關三西	野有藤	工松東垣	試	竹後	後	島	後
宅田	呂山田	藤岡	研究所	田藤	藤	田	藤
皓辰一	留恭守	久幹慶富	同	有	有	吉	有
之夫雄	吉藏郎	雄彦介雄	鐵鑛部共同	勇一	一	英	一

- 10 シリカゲル製造試験
- 11 アラレ炭及粒炭製造試験
- 12 タール水素添加中間試験
- 13 石炭及骸炭脱硫試験
- 14 重合カソリン製造試験
- 15 無水フタル酸製造試験
- 16 石炭酸合成試験

草森秋	馬鍋中篠	谷	岩長丸	大木羽竹福	岩長丸	松石渡
川井本	場谷村山	田	島谷山	島村糸原水	島谷山	尾垣邊
英千	源賢	繁	智	信憲公	智	後用正
博二秋	一造眞博	夫	正章明	昇雄一郎登	正章明	次佳樹

- 17. ベタ ナフトールノ製造試験
- 18. ナフチルアミンノ製造試験
- 19. サルチルサンノ製造試験
- 20. 硝化染料製造試験
- 21. 木材乾溜試験

試作品製作之部

- 1. 熔接用被覆電極棒被覆劑ノ製造
- 2. 鋼材壓延用ロール軸承ノ製造試験
- 3. 實驗用耐火物ノ製作
- 4. 尾鑽煉瓦ノ製造
- 5. 水刃ラスノ製造
- 6. 洗炭スライム煉炭ノ製造

長丸 松石 磯研 西三 鷺藤 吉藤  
 谷山 尾垣 産究 田田 田田 川田  
 智 俊用 窯一 一正 光守 守  
 章明 次佳 業無 雄揚 俊郎 亨郎

實村 赤玉 平赤  
 升上 星井 山星  
 敏郡 健繼  
 人助 勝夫 勝男

